

令和元年度  
今治市中学生議会 会議録



令和元年 8 月 2 日

8月2日

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 出席議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| 説明のため出席した者の職・氏名・・・・・・・・      | 2 |
| 市議会出席議員・・・・・・・・・・・・・・・・      | 2 |
| 市議会事務局出席職員・・・・・・・・           | 3 |
| 議事日程・・・・・・・・                 | 4 |

## 開 会

|                    |   |
|--------------------|---|
| 森京典議長の挨拶・・・・・・・・   | 5 |
| 菅良二市長の招集挨拶・・・・・・・・ | 6 |

## 開 議

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 日程1 議席の指定・・・・・・・・       | 7  |
| 日程2 会議録署名議員の指名・・・・・・・・  | 7  |
| 日程3 会期の決定・・・・・・・・       | 7  |
| 日程4 一般質問                |    |
| 大野真央、重松真央議員の質問・・・・・・・・  | 8  |
| 菅良二市長の答弁・・・・・・・・        | 9  |
| 片山司市民環境部長の答弁・・・・・・・・    | 10 |
| 世良智希、清水日茉莉議員の質問・・・・・・・・ | 11 |
| 菅良二市長の答弁・・・・・・・・        | 12 |
| 林秀樹教育委員会事務局長の答弁・・・・・・・・ | 12 |
| 城村遼馬、野間千晴議員の質問・・・・・・・・  | 13 |
| 菅良二市長の答弁・・・・・・・・        | 14 |
| 片山司市民環境部長の答弁・・・・・・・・    | 15 |
| 篠崎平良、高橋愛子議員の質問・・・・・・・・  | 16 |
| 菅良二市長の答弁・・・・・・・・        | 17 |
| 矢野隆治総務部長の答弁・・・・・・・・     | 18 |

休 憩（午前10時45分）

再 開（午前10時55分）

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 苅田茉胡、瀬野さや佳議員の質問・・・・・・・・ | 20 |
| 菅良二市長の答弁・・・・・・・・        | 20 |
| 越智透企画財政部長の答弁・・・・・・・・    | 21 |
| 中村麻里愛、村上心海議員の質問・・・・・・・・ | 22 |
| 菅良二市長の答弁・・・・・・・・        | 23 |
| 山崎昭二農水港湾部長の答弁・・・・・・・・   | 24 |
| 青野拳士、尾崎恋奈議員の質問・・・・・・・・  | 25 |
| 菅良二市長の答弁・・・・・・・・        | 25 |

|                  |    |
|------------------|----|
| 一色剛司都市建設部長の答弁    | 27 |
| 實成亜衣花、藤田くるみ議員の質問 | 28 |
| 菅良二市長の答弁         | 29 |
| 菅良二市長の講評         | 30 |

閉 会（午前 11 時 45 分）

# 今治市中学生議会 会議録

## 出席議員

1 番 日吉中学校

オオノ マヒロ  
大野 真央

2 番 日吉中学校

シゲマツ マオ  
重松 真央

3 番 南中学校

キムラ リョウマ  
城村 遼馬

4 番 南中学校

ノマ チハル  
野間 千晴

5 番 北郷中学校

カリタ マコ  
荻田 茉胡

6 番 北郷中学校

セノ サヤカ  
瀬野 さや佳

7 番 今治東中等教育学校

アオノ ケンシ  
青野 拳士

8 番 今治東中等教育学校

オザキ ココナ  
尾崎 恋 奈

9 番 朝倉中学校

セラ トモキ  
世良 智希

10 番 朝倉中学校

シミズ ヒマリ  
清水 日茉莉

11 番 大西中学校

シノザキ タイラ  
篠崎 平良

12 番 大西中学校

タカハシ アイコ  
高橋 愛子

13 番 伯方中学校

ナカムラ マリア  
中村 麻里愛

14 番 伯方中学校

ムラカミ ココミ  
村上 心海

15 番 大三島中学校

ミナリ アイカ  
實成 亜衣花

16 番 大三島中学校

フジタ クるみ  
藤田 くるみ

## 説明のため出席した者の職・氏名

|                      |         |                    |         |
|----------------------|---------|--------------------|---------|
| 市 長                  | 菅 良 二   | 副市長                | 越 智 博   |
| 監査委員                 | 渡 辺 英 徳 | 教育長                | 八 木 良 二 |
| 総務部長                 | 矢 野 隆 治 | 企画財政部長             | 越 智 透   |
| 健康福祉部長<br>(兼) 福祉事務所長 | 石 丸 司   | 市民環境部長             | 片 山 司   |
| 産業部長                 | 安 井 孝   | 農水港湾部長             | 山 崎 昭 二 |
| 都市建設部長               | 一 色 剛 司 | 上下水道部長<br>(兼) 水道部長 | 福 本 恭 二 |
| 消防長                  | 山 崎 秀 喜 | 教育委員会事務局長          | 林 秀 樹   |
| 財政課長                 | 鳥 生 敬 二 |                    |         |

## 市議会出席議員

|                  |         |                   |         |
|------------------|---------|-------------------|---------|
| 議 長              | 森 京 典   | 副議長               | 藤 原 秀 博 |
| 広報広聴特別<br>委員会委員長 | 越 智 豊   | 広報広聴特別<br>委員会副委員長 | 野 間 有 造 |
| 議会運営<br>委員会委員長   | 寺 井 政 博 | 議会運営<br>委員会副委員長   | 渡 部 豊   |

## 市議会事務局出席職員

局 長                      門 田 誠 五

次 長                      秋 山 律 也  
(兼) 議会総務課長

議会総務課長補佐      正 岡 直 記

議会総務課長補佐      岡 田      伸

| 議 事 日 程        |            |
|----------------|------------|
| (令和元年 8 月 2 日) |            |
| 日程番号           | 議 事 内 容    |
| 1              | 議席の指定      |
| 2              | 会議録署名議員の指名 |
| 3              | 会期の決定      |
| 4              | 一般質問       |

○森京典議長

皆さん、おはようございます。今治市議会議長の森京典でございます。今治市中学生議会の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。きょうは、今治市内に17校ある中学校を代表して8校から2名ずつ、あわせて16名の中学生にお集まりをいただきまして、今治市中学生議会を開かせていただきました。

ようこそいらっしゃいました。心から歓迎を申し上げます。

若い世代が政治に関心を持ってもらいたい。そして、私たちの今治市議会を身近に感じてもらいたい。そのような思いで始めました中学生議会、ことしで4回目となりました。きょうは皆さんのいろいろなご質問に対して、菅良二今治市長さんをはじめ、八木教育長さんや各部の部長さんも大変お忙しい中ですが、皆様のご意見をお聞きしたい、そしてお答えしたい。ということで、おいでになっていただいております。リラックスして、いろいろ常日ごろ考えていることを、皆さんの目線から、質問してください。皆さんは、質問をするために、今の今治市はどうなっているのか、今までの今治市はどのような取り組みをしてきたのか等、ふるさとの今治のことをたくさん調べて、この先の今治市にどうなってもらいたいのか、どうすればいいのかをたくさん、おんまく、考えてきたと思います。すばらしい質問をしていただくと同時に、その将来を見越した質問をしていただくと、こんなにうれしいことはありません。私もきょうは特別に、市の理事者側の席に座らせていただいて、身近に皆さんの質問を聞かせていただきます。応援しておりますので、ぜひ、頑張ってください。



最後になりましたが、各学校の先生方、そして保護者の皆様、こうしてご支援を賜り、またご協力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。本当にきょうはありがとうございました。

それではこれから、私が、中学生議会の議長を指名をして、中学生議会を進めたいと思います。議長は、伯方中学校の村上心海議員にお願いいたします。

○村上心海中学生議会議長

私は、はじめに議長を努めます、伯方中学校の村上心海です。よろしくお願いします。本日の出席議員は16名です。

ただ今から「今治市中学生議会」を開会いたします。市長から中学生議会招集の挨拶があります。



○菅良二市長

中学生議会の議員の皆さん、おはようございます。市長の菅良二です。中学生議会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。きょうは、市内中学校17校のうち、8校の代表16名の皆さんにお集まりをいただきました。心から歓迎申し上げます。議場の雰囲気、いかがですか。今治市出身の世界的な建築家、丹下健三先生の設計です。前の東京オリンピック、金メダルポイント。あのソビエト連邦との熾烈な戦い、バレー。あの代々木の体育館の設計も、それから、広島の実験ドーム、平和記念公園。みんな、丹下先生。今治市のこの本館も、公会堂も、丹下先生の設計です。その議場の中で、きょう、今の、そして将来の今治市について、市議会の皆さんと、毎日議論を重ね、本会議には議論を重ねております。

ところで、いよいよ、本当に暑い夏がやってきました。あしたから2日間、第22回になります、今治市民のまつり「おんまく」が開催されます。きょうは、「おんまく」の開催機運を盛り上げようと、我々理事者席、まつりのポロシャツを着て臨ませていただきました。



背中もあります。

中学生の皆さんは、勉強あるいは部活動で日々、忙しい時間を過ごしていることもあって、なかなか市政に関心を持つ機会というのは少なかったかもしれません。それでも普段、皆さんならではの視点、感性で、きっと

いろいろなことをお感じになっていると思います。

きょうは、日ごろから皆さんが考えていること、今治市への思いをこれからご質問いただくわけではありますが、それぞれに準備を重ね、この場に臨んでいただいたと思います。限られた時間ではありますが、私どもも、しっかりとお答えをさせていただきますので、よろしくお願いします。

そしてきょうは、こちら側、理事者席に座っている、先ほどご挨拶もありました、北郷中学校出身の森議長さん、朝倉中学校出身の藤原副議長さんをはじめ、理事者席に委員長さん、議会の幹部の方々、そして私ども、玉川中学校出身の越智副市長、大三島中学校出身の渡辺監査委員、北郷中学校出身の八木教育長、そして、それぞれの市内の中学校を卒業した部長が理事者席に座って、皆さんの質問をしっかりと聞かせていただきたい。理事者席だけじゃなくて、傍聴席、市議会議員の皆さん、そして、私ども、皆さんの質問の最初の答弁書を書いた課長の皆さんも、そしてうれしいことにきょうは、皆さんの保護者もたくさんお越しにいただいている。そのことが、大変私はうれしく思います。きっと、まあ、お姉さんじゃない、お母さんだと思いますが、きょう皆さんのそれぞれのお子さんのお気持ちだけじゃなくて、ああ、こんなに今治市の中学校でみんな頑張っている仲間がいるんだという、そんなことも保護者席の皆さん、お感じになっていただけるんじゃないかと思っております。皆さんからいただきましたご意見、提案の中で、これはいただきだ、いいぞというものは、積極的にこれからのまちづくりに生かしていきたいと思っておりますので、自信を持って、堂々と発信、発言してください。

本日の中学生議会が、きょうの主役である議席にいる皆さん、そして今の市政を担当する私どもにとって、実り多いものとなりますことを心から期待申し上げ、開会に当たっての私からのご挨拶とさせていただきます。

#### ○村上心海中学生議会議長

菅市長さん、ありがとうございます。

これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付の日程表のとおりであります。また、本日の中学生議会につきましては、報道機関などから撮影をしたいとの申し出があり、撮影を許可しておりますので、ご了承ください。

日程第1、議席の指定を行います。議席は、議長において皆さんが今着席しているとおり、議席を指定いたします。

日程第2、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、1番大野眞央議員、9番世良智希議員、以上2名の方を指名いたします。

日程第3、会期の決定を議題とします。お諮りします。今治市中学生議会の会期は、本日1日としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

( 「異議なし」と言う )

ご異議なしと認めます。よって、会期は、本日1日と決定しました。

日程第4、「一般質問」を行います。質問の順番は、各議席に配付しております一般質問順のとおりです。通告者の発言を順次許可いたします。

はじめに、1 番日吉中学校大野眞央議員、2 番重松眞央議員。



○大野眞央議員

日吉中学校 3 年大野眞央です。

○重松眞央議員

3 年重松眞央です。高齢者が暮らしやすい町づくりという観点から 2 点質問します。1 点目は、高齢者の免許返納についてです。最近、高齢者による事故が連日のように報道されています。高齢者の方が自分自身の身を守ったり、周りの人を事故に巻き込まないためにも、私も免許の自主返納には賛成です。しかし、免許を返納してしまうと、これまでのように買い物や病院に気軽に出かけにくくなってしまいます。公共の交通機関が十分に整っていない場所であれば、なおさらです。また、バスなどの公共交通機関を利用する場合でも、足腰の弱いお年寄りがバス停まで歩いたり、重い荷物を運んだりすることは大変な労力を必要とするなど、免許返納によるデメリットも心配されています。そこで、ここ今治市では、免許返納を促すためにどのような取り組みがされており、また、どのようなことが課題として挙げられているのかを教えてくださいたいと思います。

○大野眞央議員

2 点目は、災害時における高齢者の避難についてです。近年、豪雨災害のニュースが、後を絶ちません。去年は同じ今治市でも被害に遭われた方がいました。また、南海トラフを震源とする地震が近いうちに来ると言われています。しかし、仮に避難指示が出ていたとしても、高齢者の方、特にひとり暮らしの方はすぐに身動きがとれません。そういった際、高齢者の方が確実に避難できるよう、声をかけてくれたり支援してくださるような対策は考えられているのでしょうか。今治市の高齢者の方々が安心、安全に暮らせるような町になること、それができれば、全ての世代の人が暮らしやすい今治市になると思っています。以上の 2 点の質問について、ご回答をよろしくお願いします。

○村上心海中学生議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

トップバッター、大野真央議員は、バスケットで活躍。そして、重松真央議員はテニス部のキャプテン。2人とも生徒会活動をしながらか、大変充実した中学校生活を送っているんだなと感じております。大野真央、重松真央両議員ご質問の「高齢者が暮らしやすい町づくりについて」のうち、2点目の「災害時における高齢者の避難について」に関しまして、私からお答えをさせていただきます。

ことしの夏は、非常に梅雨入りが遅くて、また雨の量も少なかった、ちょっと平成6年の大洪水のような雰囲気でありました。玉川ダムの貯水率、一時 54.4%まで低下し、随分と心配をしておりました。しかし、7月19日、待望の雨が一気にダムの水位を回復してくれて、安堵して、ああ、この夏もう大丈夫だぞ、という思いがしたところであります。我々の生活にはなくてはならない命の水、恵みの雨である一方で、近年の気象状況の変化によって、毎年、全国各地で豪雨による被害が発生しております。昨年の7月豪雨、お二方のとうとい命を失う、残念な、残念な豪雨災害でもありました。本市におきましても、過去の災害を教訓に、大切な市民の命を守る日ごろからの備え、体制づくりを進めているところです。避難が必要な状況になった場合、ひとり暮らしの高齢者、あるいは障がいがある方など、危険を察知して自力で安全に避難することが困難な方には、それぞれに応じた支援が必要となります。特に、大規模災害発生初期段階では、消防をはじめ警察などの公的機関は、十分な対応ができない恐れがあり、このような時こそ、地域で協力して避難の支援や安否確認などを行っていただくことが重要です。

このため本市では、災害時の避難に手助けが必要な方々の名簿を作成しています。そして、その方の同意を得て、自治会、自主防災組織、民生委員、消防団などにこの名簿を提供し、災害時には、関係機関と協力し合って、避難の支援や安否確認などを行うこととしています。皆さんのご近所にも、ひとり暮らしの高齢者がおられると思いますが、必要な時には率先して地域で声をかけ合い、みんなの命を守る、早目の避難を心掛けていただきたいと思います。そしてその時、皆さんたち中学生が、おじいちゃん、おばあちゃんの手を引いて、一緒に行動してもらえたら、きっと安心して、より安全に避難できると思います。大規模災害が起こったときに大切なことは、「自助」「共助」「公助」です。特に皆さんには「自助」、そして次に「共助」、「共に助け合う」を実践してもらいたいと思っています。まずは自分が無事であること、そして家族が無事であるかを確認する。そして、友人や地域の皆さんを助けてください。いざというときに、地域で皆さんの助けがきっと大きな力になると、期待をしております。大野、重松両議員の高齢者に対する優しい心遣いに敬意を表します。もう1つ、日吉中学校といえば、つい先般、今、それぞれ各公民館ごと、地区ごとで納涼祭といいますか、盆踊り大会をしております。日吉校区にあつては、日吉小学校、今は廃校になりましたけれども、あの体育館で行われましたが、そのときに日吉中学校3年生、9名の方がおったんかなという、正面から。9名の方が来て、応援、サポートしてくれました。ふっと連想で、「日吉坂 48」まさにここにあり。そんな思いがしました。9人の方々がいることによって、あの場に存在することによって、場が本当に明るく、それが若さの特権、すばらしさだと、私

は強く感じました。これからもどうぞ、人に優しいまちづくりを、私たちも心がけますが、皆さん若い世代、しっかりと地域の高齢者にもお声がけ、「おはよう」、「おはようございます」、「こんにちは」、そんな一言が、高齢者にとっても元気を与えます。よろしくお願いします。「高齢者の免許返納」につきましては、市民環境部長からお答えをさせていただきますので、よろしくお願いします。以上です。

○村上心海中学生議会議長  
片山市民環境部長。

○片山司市民環境部長

大野眞央議員、重松眞央議員ご質問の「高齢者が暮らしやすい町づくりについて」のうち、1点目の「高齢者の運転免許返納」に関しましてお答えします。

本年4月に東京池袋の交差点で発生した、高齢者が運転する乗用車の暴走による自転車に乗った母子死亡事故など、痛ましい事故の報道の影響もあり、長年保有していた運転免許証の自主返納を検討する高齢者が増加傾向にあるといわれております。今治市としましても、事故防止のため、運転に不安を感じる高齢者の方々が自主的に運転免許証を返納しやすい環境を整備することが必要であると思っております。今治市内では、自治体と企業などの事業者が連携し、「運転免許証自主返納支援制度」を設けており、運転免許証を返納した高齢者への買い物や飲食料金、一部路線バス運賃などの割引や銀行の預金利率の上乗せなど、様々な特典を、警察署が認定した「支援事業者」が提供しており、現在62の事業者の協力をいただいております。これらの様々なサービスを受ける際には警察署が交付する「運転経歴証明書」の提示が必要となりますが、本市では、その交付手数料などについて、全額補助する制度を昨年10月に創設し、自主返納の促進に努めているところでございます。返納者の推移でございますが、この制度の創設前は、市内で月平均44件であったものが、創設後は68件と、5割を超える増加となっており、効果があらわれているようでございます。

一方で、免許返納がふえていくにつれ、自転車の利用も多くなり、高齢者による自転車事故発生件数の増加が予測されておりますので、事故発生時に重症、重体とならないようヘルメットの着用率の向上を図る必要がございます。そのため、高齢者を対象とした交通安全教室の開催をはじめ、返納者がヘルメットを購入する際に割引ができるよう、自転車販売店へ働きかけて実現するなど、交通ルールとマナーの向上にも努めております。

また、免許返納に伴う課題でございますが、買い物や通院など、返納後の高齢者の移動手段をどう確保していくかが挙げられますが、今後、公共交通事業者や関係機関と協力、連携しながら課題解決へ向けて取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。

○村上心海中学生議会議長  
大野眞央議員、重松眞央議員。

○大野眞央議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○村上心海中学生議会議長

以上で、大野真央議員と、重松真央議員の一般質問を終わります。

次に、9番朝倉中学校世良智希議員、10番清水日茉莉議員。



○世良智希議員

朝倉中学校3年世良智希です。

○清水日茉莉議員

3年清水日茉莉です。私たちは「今治市のスポーツ施設の整備」について質問します。私は、J F Aアカデミー今治とF C今治に所属しています。今治市には、桜井海浜ふれあい広場、スポーツパークをはじめとするサッカーができる施設がたくさんあります。さらに、天然芝や人工芝のグラウンドが整備されており、環境のよい中でサッカーができることをとてもうれしく思っています。今度、スポーツパークの隣にF C今治のスタジアムができると聞いています。そこで、今治市が取り組んでいるスポーツ施設の整備について、F C今治のスタジアムの施設構想との関連性について教えていただきたいと思います。

○世良智希議員

2つ目は、僕は、3歳の頃から水泳を習い始めて、現在も競泳の選手としてスイミングスクールに毎日通って頑張っています。そのスイミングのプールは0歳の赤ちゃんから高齢者の方まで幅広くプールを利用されています。水遊びをされている幼児、水中ウォーキングをされている方、泳がれている方など、さまざまです。これからの将来、少子化・超高齢化社会による問題がさらに深刻化されていくことが考えられます。そこで、いろいろな世代の人たちがスポーツを通じて交流できる施設があれば、互いに尊重し、よりよい社会を築くことができるのではないかと思います。今治市は全世代が利用できるスポーツ施設整備を今後、どのように取り組んでいこうと考えているのかを教えていただきたいと思います。

○村上心海中学生議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

朝倉中学校の世良議員、清水議員。世良議員は、資料を見せてもらって、先ほどもお話があった水泳、随分頑張っているんだな。これ、県大会といったことで、非常に優秀な成績をおさめている。将来の瀬戸大也目指して、さらに精進してくれたらありがたいと思います。それからもうひと方、清水日茉莉さん。日茉莉議員は、確か、J F Aのアカデミーの入校式で、あのときは、でも随分とこの2年余りで、中学生っていうのは成長するんだな、ということ今、痛感しております。随分頑張っているといったこと。そして2人とも生徒会の会長、副会長としての名コンビ。文武両道、取り組んでいるといったこと、本当に頼もしく思っております。これからの2人の成長を楽しみにしております。

ところで、世良智希議員、清水日茉莉議員ご質問、「今治市のスポーツ施設の整備について」のうち、1点目、「F C今治のスタジアムの施設構想」に関しまして、私からお答えさせていただきます。F C今治は、現在、J F L、日本フットボールリーグで、首位のホンダF Cに勝点3点差で2位につけています。この間、雨で残念ながら中止になり、決戦は後になりましたけれども、このまま順調に勝ち進んで、ことしこそ、ことしこそ悲願でありましたJ 3昇格を果たしてくれるものと期待しているところであります。

現在のF C今治のホームスタジアムである「夢スタジアム」は、市が無償貸与した市有地に、民間会社が整備し、運営されております。J 3基準の5,000人の収容人数は満たしておりますが、J 2では1万人、さらにJ 1となれば1万5,000人収容可能なスタジアムが必要となりますので、F C今治において、J 1規格の新しいスタジアムの建設を計画しており、その施設構想について、検討を行っている段階です。本市といたしましても、新しいスタジアムと、スタジアムを拠点としたF C今治のさまざまな取り組みが、スポーツによる賑わいづくりに大いに貢献してくれるものと期待しており、先の市議会において、「スポーツパーク用地の無償貸与を前提に、F C今治によるサッカー専用スタジアムの整備を基本として検討してまいりたい」と支援を表明させていただいたところでございます。今まさに全力でJリーグへ駆け上がろうとしているF C今治を、ホームタウンをあげて、市民一丸となって応援していきたいと考えております。皆さんも一緒に応援しましょう。「全世代が交流できるスポーツ施設の整備」につきましては、教育委員会事務局長からお答えいたしますので、よろしく申し上げます。以上です。

○林秀樹教育委員会事務局長

世良智希議員、清水日茉莉議員ご質問の「今治市のスポーツ施設の整備」についてのうち、2点目の「全世代が交流できるスポーツ施設の整備」に関しまして、私からお答えをさせていただきます。

本市は市町村合併により、他市に比べ数多くのスポーツ施設を有しております。中央体育館、市営球場、スポーツパーク等の中核施設だけでなく、それ以外の体育館やプール、グラウンド等におきましても、さまざまな世代の方々に、スポーツ活動やレクリエーション等に

利用いただいております。全世代が利用できる施設整備と申しますと、幼児から高齢者までが利用しやすいよう、既存施設のバリアフリー化など、ハード面の整備が重要と考え、順次整備を行っているところでございます。

また一方で、多様な方々が集うメニューを実施するなど、運用方法も重要だと考えております。現在、市民軽スポーツフェスティバルや市民ニュースポーツ大会など、世代を超えた全市民を対象とした取り組みを行っておりますが、今後も既存の施設を十分に活用し、スポーツを通じて多様な世代が交流できるようなメニューを検討してまいりたいと考えておりますので、皆さんにもぜひ参加してほしいと思っております。よろしくお願いいたします。以上でございます。

○村上心海中学生議会議長

世良智希議員、清水日茉莉議員。

○世良智希議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○村上心海中学生議会議長

以上で、世良智希議員と清水日茉莉議員の一般質問を終わります。

次に、3番南中学校城村遼馬議員、4番野間千晴議員。



○城村遼馬議員

南中学校3年城村遼馬です。

○野間千晴議員

3年野間千晴です。

○城村遼馬議員

私たちは、「地球温暖化への対策」について質問します。地球温暖化は世界中で深刻な問題となっています。原因の大部分を占める温室効果ガスの76%は、石油や石炭などの化石

燃料の燃焼によって排出される二酸化炭素であると報告されています。これに伴い、今の地球は年々異常な暑さになっており、そのため今治市でも、小中学校へのエアコン設置の計画が進められています。

#### ○野間千晴議員

一方で、地球温暖化への対策においては、政府や企業だけではなく、私たち一人一人の生活を見直し、身近にできることに取り組んでいくことも大切です。例えば、緑のカーテンは太陽の熱エネルギーを 80%もカットしてくれるそうです。これを今治市として推奨することはできますでしょうか。快適な生活と省エネルギーの両立のために、何か考えられていることはありますか。私たちも少しでも地球温暖化防止に協力できたらと思いますので教えてください。以上で質問を終わります。

#### ○村上心海中学生議会議長

答弁を求めます。

#### ○菅良二市長

南中学校は今、スポーツ、それから吹奏楽、いろんな分野で頑張っているな、ということを感じておりますし、サッカー部も、東も西も日吉もとといった大規模校が、もちろん南中学校、その中核にあるといったことで、副キャプテンをして、「城村」。普通「木」の「木村」だけど、「しろむら」っていう城村君。珍しいけれども、頑張ってもらったと思いますし、野間議員は、陸上、かなり頑張っているようです。2人とも、生徒会の役員としても、充実した中学校生活に敬意を表します。城村、野間両議員ご質問、地球温暖化。とっても大切な問題であります。その、「地球温暖化への対策について」に関しまして、私からお答えをさせていただきます。

18 世紀のイギリスからの発祥、産業革命。これによって、我々人類の生活レベルが、一気に一気に向上し、それ以前の暮らしに比べると、随分と利便性がよくなり、快適な生活を得ることができるようになったと言われておりますし、そのとおりだと思います。その反面、急激な高度成長が、地球環境に悪影響をもたらし、温室効果ガスの中でも地球温暖化に最も大きな影響を及ぼしている二酸化炭素は、産業革命以降、増加の一途をたどっており、現在では、産業革命以前と比べると大気中の二酸化炭素濃度は約 40 パーセントも増加しております。

地球温暖化の問題は、生物の生存にも関わる重大な問題であります。未来の地球環境を守りたいというお2人のお気持ち、大変うれしく思っております。平成 27 年 12 月に開催された C O P 21 では、地球温暖化対策の新たな国際的枠組みである「パリ協定」が採択され、日本は温室効果ガス排出量の削減目標を「平成 25 年度比で 26%削減する」ことを決めました。本市におきましても、平成 30 年 3 月に「今治市地球温暖化対策実行計画」を策定し、市の全ての施設から排出される温室効果ガス排出量の削減目標を、国と同じ削減率に設定し、使用目的が同じ施設を集約したり、省エネ型の施設に改修したりと、さまざまな方法で取り

組んでおります。

そしてその最大の取り組みが、南中校区に完成した「バリクリーン」であります。地元町谷地区の皆様のご理解、ご協力があったからこそ実現できたもので、4つの老朽化したごみ処理施設を1つに集約した、まさに市町村合併の効果を最大限に生かした施設であります。地元の南中校区の皆さんに、心から感謝を申し上げます。この「バリクリーン」は、先般、第5回目になりますジャパン・レジリエンス・アワード、強靱化という、日本強靱化大賞で栄えあるグランプリを受賞しました。日本一に選ばれた理由の一つが、平常時だけでなく災害発生時にも再生可能エネルギー、いわゆるごみを燃やした熱で電気をつくることができるという事です。この機能を活用して施設全体の消費電力を賄うだけでなく、隣接する公共施設にも送電し、平常時の余剰電力については売電をしています。平成30年度は、何と2億円もの収入を生み出しました。運営経費等の削減の点において非常に優れ、地球環境にも配慮した施設となっております。

一方で、地球温暖化の原因や解決策は日々の暮らしに直結しています。私たち一人一人が地球温暖化対策の重要性を理解し、ライフスタイルを環境の視点から見直していくことがとても大切です。詳細につきましては、市民環境部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いします。以上です。

○村上心海中学生議会議長

片山市民環境部長。

○片山司市民環境部長

城村遼馬議員、野間千晴議員ご質問の「地球温暖化への対策について」に関する諸施策につきまして、お答えいたします。

まずご提案の「緑のカーテン事業」でございます。こちらは、市民の皆様への地球温暖化対策への意識啓発を目的に、平成24年度より公民館や保育所、しまなみアースランドなどで実施しています。本年度は本庁別館前を含む15施設に設置しており、別館前の緑のカーテンの成長過程などについて、市のホームページでもご紹介しております。ぜひ学校や家庭でも「緑のカーテン」を設置し、温室効果ガスの削減に取り組んでいただきたいと思います。なお、日吉、立花、菊間、朝倉の4つの中学校では、すだれやたてず、遮光ネットを窓の外に設置しているとのことです。これらも「緑のカーテン」と同様の効果がありますので参考にいただければと思います。

そのほかの市の取り組みとして、平成28年度から蓄電池システムや、燃料電池システムの設置を行った家庭を対象とした補助制度を設け、家庭での二酸化炭素の削減を進めています。平成29年度からは、「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」という自宅で消費するエネルギー量より自宅で作るエネルギー量が多い家を補助対象とし、より一層の二酸化炭素の削減を推進しています。

最後に、快適な生活と省エネルギーの両立のための施策について皆さんにお願いしたいことがございます。それは、日常の生活の中で無駄にエネルギーを使っている部分を見つけ、

節電に努めてくださいということです。簡単なことばかりですが、一番重要なことです。市のホームページにも掲載しておりますが、「家庭で出来る節電ポイント」がございます。「こまめにスイッチを切りましょう」「待機電力を削減しましょう」など、7つのポイントと具体的な注意点を記載しております。これらを参考に、各家庭において無駄なエネルギーの使用を控えていただきたいと思います。一つ一つは小さな取り組みですが、市民全体が取り組むことで大きな成果となってきます。ぜひ本日から行動していただくとともに、地球温暖化対策がより一層進展することを期待しております。以上でございます。

○村上心海中学生議会議長

城村遼馬議員、野間千晴議員。

○野間千晴議員

ありがとうございました。以上で質問を終わります。

○村上心海中学生議会議長

以上で、城村遼馬議員と、野間千晴議員の一般質問を終わります。

次に、11番大西中学校篠崎平良議員、12番高橋愛子議員。



○篠崎平良議員

大西中学校3年篠崎平良です。

○高橋愛子議員

大西中学校3年高橋愛子です。

○篠崎平良議員

私たちは南海トラフ地震をはじめとした自然災害への対策について2点質問をします。まず、災害発生時の避難についてです。大西町には指定避難所が6か所ありますが、収容できる人数は合わせて2,898人と、総人口の半分に満たない人数となっています。さらに巨大地震により大きな津波が発生した際、避難が可能なのは3か所だけで、約700人しか収容

できなくなってしまう。残された約 8,000 人はどこに避難すればいいのか、また、避難所は震度 6 から 7 強に耐え得る耐震性があるのだろうかと不安を感じています。甚大な災害の場合、どのようにして身の安全を確保する行動をとればいいのか、また今後、避難所の収容人数や耐震性などの見直しについての案があるのか、教えていただければと思います。

#### ○高橋愛子議員

2 点目は、自然災害に備えて日ごろより準備や心がけておくべきことについてです。昨年の西日本豪雨では、今治市内でも大きな被害があり、災害がより身近なものとして迫ってきました。大西町では、幼児・小学生・中学生合同の避難訓練を実施しています。また、被災された方への募金を行うなど災害に対して意識を高めようともしています。しかし、毎日の生活の中では、災害への意識が薄くなる傾向があります。そこで、私たちが日ごろから準備しておくべきこと、心がけておくべきことについて教えていただければと思います。

この 2 点についてよろしくお願いします。以上で私たちの質問を終わります。

#### ○村上心海中学生議会議長

答弁を求めます。

#### ○菅良二市長

大西中学校、篠崎、高橋両議員。元気よく発表いただきました。2 人とも陸上部、しかも部長と副部長。コンビネーション、「高橋尚子」じゃなくて愛子さん。立派な指導を、陸上部、しているんだな。大西の陸上といえば、随分もう前、皆さんの大先輩になる鴨川選手。日本一、中距離ランナーで、といったのを聞いたこと、体育館のところに碑もあったと思います。周年事業のとき、私、おお、頑張っているんだ。この鴨川さんは、のちに文武両道、学問のほうもしっかり勉強して、頸椎の手術なら鴨川さんだといわれるほど、今は立派に活躍しています。そういう先輩がいることを、ぜひ誇りに。そして皆さんも目標高く、頑張ってもらいたいと思っています。

ところで、篠崎平良、高橋愛子両議員ご質問、「南海トラフ地震等自然災害への対策について」のうち、2 点目の「自然災害に備えて日ごろより準備や心掛けておくべきこと」に関しまして、私からお答えをさせていただきます。大西町では、毎年、自治会、自主防災会や防災士の方々が中心となって、全地域から指定避難所である大西小学校や大西公民館へ集まる町全体での避難訓練が行われています。また、学校単位でも、議員ご発言の通り、中学生、小学生、幼児が一緒になって藤山健康文化公園へ避難する訓練を行い、皆さんが、幼児の小さな手を引いたり、おんぶして避難している光景を、本当に頼もしく思っております。

ところで、皆さんは、東日本大震災の「釜石の奇跡」ご存じですか。釜石市立東中学校の生徒は、人からの指示を待たずに、自分の判断で率先して高台を目指して避難しました。すると近くの高台小学校の児童が、一度は校舎の屋上などに避難していましたが、中学生が避難している姿を見て、後を追って高台を目指しました。その直後、津波が小学校を飲み込みましたが、高台に避難したことで、児童生徒全員が無事だったということです。まさに日

ごろの訓練の賜物であったと思います。そして、高台に避難する子供たちに促されて助かった住民も多いといわれています。昨年の西日本豪雨災害の際の住民アンケートでも、隣の人  
が避難を促してくれたり、また避難する姿を見て避難を決めたという人がおられました。皆  
さんにも、この釜石の中学生のように「自らの命は自らが守る」、そして「率先して避難す  
る」ことをお願いしたいと思います。

本市では、市民の皆さんに、災害時の危険箇所や避難場所などを示した防災マップを各戸  
に配付するとともに、ホームページでも周知しています。避難場所や自分の住んでいる地域  
にはどんな危険があるか、刻々と変わる気象情報に対して、どのような行動をとるべきか、  
普段から考え、安否確認方法や集合場所など家族で日ごろから、話し合っておくことも大切  
です。皆さんには、これからも機会を捉えて防災について学び、いざという時には、学校や  
皆さんの住んでいる地域の中で、共に助ける「共助」の一員として活躍していただきたいと  
思います。「災害発生時の避難」につきましては、総務部長からお答えさせていただきます  
ので、よろしくお願いします。以上です。

○村上心海中学生議会議長

矢野総務部長。

○矢野隆治総務部長

篠崎平良議員、高橋愛子議員ご質問の「南海トラフ地震等自然災害への対策について」の  
1 番目の「甚大な災害の場合、どのように身の安全を確保する行動をとればよいか、避難所  
の収容人数や耐震性の見直しについての案があるのか」に関しまして、私からお答えさせて  
いただきます。

まず、地震発生時は、シェイクアウト訓練でも行っているように、あわてず、落ち着いて、  
机の下に隠れるなどの身の安全を図る行動をとることによって、「自分自身の安全は自分で  
守る」ことを身につけていただきたいと思います。一方、津波から身を守るためには、津波  
浸水想定区域内にお住まいの方は、津波警報等が発表されたら、できるだけ早く避難を始め  
ることが重要でございます。この場合、大西町では、指定緊急避難場所の藤山健康文化公園  
やできるだけ高い所へ、まず避難するように心がけていただきたいと思います。なお、市の  
ホームページに津波浸水想定図を掲載しておりますが、大西町では、海岸部に近い地域が津  
波の影響があると想定されております。このため、大西町全域にわたって津波避難の必要は  
ありませんが、仮に避難所の収容人数に不足が生じた場合には、市内全体の避難所の中で対  
応を考えてまいります。

次に、南海トラフ巨大地震における想定される本市の最大震度は6強でございます。避難  
所ともなっております市内小中学校は既に耐震化工事が完了しておりますが、避難所の中  
には、現在、耐震化工事に着手しているものや今後、計画されているものもございます。ご質  
問の大西町における指定避難所はいずれも、南海トラフ巨大地震に対する耐震機能を備えた  
避難所となっております。以上でございます。

○村上心海中学生議会議長

篠崎平良議員、高橋愛子議員。

○篠崎平良議員

これで質問を終わります。ありがとうございました。

○村上心海中学生議会議長

以上で、篠崎平良議員と、高橋愛子議員の一般質問を終わります。

ここで休憩をとりたいと思いますが、会議再開後の議長は、南中学校の野間千晴議員にお願いします。

会議の再開は 10 時 55 分です。それでは、休憩をします。



○野間千晴中学生議会議長

それでは、会議を再開します。ここから議長を務めます、南中学校の野間千晴です。よろしくお願いします。

一般質問を続けます。

次に、5 番北郷中学校荻田茉胡議員、6 番瀬野さや佳議員。



○荊田茉莉議員

北郷中学校 3 年、荊田茉莉です。

○瀬野さや佳議員

3 年、瀬野さや佳です。

○荊田茉莉議員

私たちは、人口減少対策として、移住推進のための支援について質問します。現代の日本は、少子高齢社会です。今治市も例外ではありません。今後、今治市が発展していくためには、人口の増加が必要だと思います。そのためには、今治市出身以外の人を定住してもらう必要があります。

○瀬野さや佳議員

例えば、大分県豊後高田市では、「ウェルカム未来の高田っ子応援金」という事業を行っています。これは、県外に住んでいる子育て世帯が市内に移住した場合、10 万円の応援金を交付するということです。今治市でも、このような政策を実施していたり、その予定があったりするかどうか教えてください。

また、I ターン促進のための財源は何かについてもお答えください。以上で質問を終わります。

○野間千晴中学生議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

北郷中学校といえば、女子のソフトテニス、圧倒的に強いということを聞いておりますが。荊田議員は柔道、かなり強いんだと思いますし、瀬野議員は、北郷といえば、非常に剣道熱心ですけども、剣道 2 段。頑張っているんですね。スポーツ、そして生徒会活動もしっかりと、中学校生活を、充実した生活を送っているんだなと感じます。これからもしっかり頑張らしましょう。

ところで、荊田、瀬野両議員ご質問、「人口減少対策として移住推進のための支援」に關しまして、私からお答えをさせていただきます。本市におきましても、進学、就職に伴う若年人口の大都市等への転出や少子化の進行などによって、人口減少が続いており、暮らし、安全はもとより、地域の産業、活力を維持していくためには、人口減少に少しでも歯止めをかける、これが重要であります。しまなみ地域は、多島美の景観やサイクリング、日本遺産といったすばらしい資源に溢れており、現在、これらの魅力が、国内外の多くのメディアに取り上げられております。こうした情報発信を通して、まずは今治市を知ってもらい、訪れてもらい、そして好きになってもらうことが、移住を促す大きなきっかけになるものと考えております。

今後も、地域の振興と活力維持のため、あらゆる方法、また機会を捉え、今治市の魅力を全国に発信するとともに、移住・定住人口の拡大につながるよう、各種施策に取り組んでまいります。そして、私から皆さんにお願いがあります。皆さんの住むそれぞれの地域には、すばらしい地域資源、そして伝統、文化があります。とりわけ、この今治市は造船、まさに波止浜、造船のメッカであります。それから今やもう、日本だけでなく世界の皆さんに、今治タオルといえば、おっ。特に女性にとっても人気になっています。それから忘れてならないのは、日本食研さん、頑張っております。「焼肉焼いても家焼くな」というようなコマーシャル。それから「伯方の塩」伯方塩業。こういった食品産業も、そしてもうひとつは、エネルギーのまち。菊間を中心に太陽石油さんが、大変なエネルギー関連の事業を推し進めております。そういったことから、四国でナンバーワンの製造品出荷額。これが「ものづくりのまち今治」なんです。

まずは普段から自分のまちに目を向けて、地域の活動やイベントにも積極的に参加して、ふるさとを愛する心、ふるさとへの誇りを感じていただきたい。そして、皆さんも、将来、進学や就職で一度は今治を離れることもあると思いますが、願わくば卒業後、やっぱりふるさと今治、思い出して、戻って、そして我々が進めている「夢と魅力に溢れる今治づくり」にともに取り組んでいただければありがたい、心からそう思っております。その他詳細につきましては、企画財政部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いします。以上です。

#### ○野間千晴中学生議会議長

越智企画財政部長。

#### ○越智透企画財政部長

朝倉中学校の出身の越智でございます。荻田茉莉議員、瀬野さや佳議員ご質問の「人口減少対策として移住推進のための支援について」に関しまして、お答えいたします。

本市では、移住推進のための支援策として、次のような事業を実施しております。まず、移住に関する情報発信や相談として、「えひめ移住交流促進協議会」が運営いたします移住支援ポータルサイト「e 移住ネット」や「えひめ空き家情報バンク」と連携し、地域の紹介や仕事、住まいの情報を発信しています。また、愛媛県が東京・大阪で開催する「移住フェア」に相談ブースを出展し、直接、移住を検討されている方への相談に応じるとともに、市内のNPO法人が行っております、島しょ部を中心とした独自の空き家情報バンクや、空き家体験ツアーなどの事業の支援を行っております。

次に、住宅の取得、改修に関しましては、2つの補助制度を設けております。1つ目は、今治市外から移住する50歳未満の働き手世帯、中学生以下の子供さんがいらっしゃる子育て世帯を対象に、住宅取得費用の10%、上限50万円を補助しております。2つ目は、愛媛県外から移住する働き手世帯に対し、住宅を改修する費用の3分の2、上限が200万円、子育て世帯につきましては上限400万円を補助しております。そして、この市補助金の2分の1は、愛媛県からの補助金を財源としております。特に人口減少が著しい周辺地域への

移住者に対しては、本市独自で補助率の上乗せ加算も行っております。なお、移住者の実績でございますが、去る6月の新聞報道では、平成30年度の愛媛県への移住者数は、1,715人と過去最高でございました。その中でも、本市への移住者は479人と県内最多となっております。

また、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行いながら、本市での起業・定住を図る「地域おこし協力隊」制度を平成24年度より導入しております。本年度までに、現役を含めまして42名の隊員を採用し、このうち、任期終了後も34名の隊員が本市に在住しており、その定住率は81%となっております。以上でございます。

○野間千晴中学生議会議長

荻田茉莉議員、瀬野さや佳議員。

○瀬野さや佳議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○野間千晴中学生議会議長

以上で、荻田茉莉議員と、瀬野さや佳議員の一般質問を終わります。

次に、13番伯方中学校中村麻里愛議員、14番村上心海議員。



○中村麻里愛議員

伯方中学校3年中村麻里愛です。

○村上心海議員

3年村上心海です。

○中村麻里愛議員

私たちは、「豪雨災害後の復興支援について」質問します。昨年の豪雨災害で、私たちが住む伯方島も土砂災害や冠水などの被害を受けました。被災後は、地域の方々をはじめ、県外の方々もボランティアとして伯方島の復興に携わってくださいました。そのおかげで現在

は、元の伯方島の姿を取り戻しつつあります。しかし、まだ整備の行き届いていない場所もあります。そのような状況を踏まえ私たちは、以下の2点についてお聞きします。

○村上心海議員

1つ目は、まだ整備されていない被災場所の復興は、今後どのように行われていくのかということです。昨年の豪雨災害の影響でことしも新たな被害が起こる恐れがあり、私たちも不安な気持ちがあります。

2つ目は、災害が起こった際の物資の援助や心のケアについてどのような取り組みが今治市で行われているのかということです。昨年度の被害で、伯方島でも家を失ったり1人のとうい命が失われたりしました。以上の2点について質問いたします。

○野間千晴中学生議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

伯方中学校のお2人。特に昨年7月豪雨災害で大変な思いを、そして共有しながら人を助けたり、いろんな活動もしていただいたことに敬意を表します。2人とも、卓球部。そして、中村さんは北浦の八幡太鼓。ことしはどうなんですか。伯方の夏祭り名物でいつもやっていただいておりますが、私もその夏祭りに行くこと、楽しみにしております。また会えるといいな、と思っています。それから、村上さん。おじいちゃん、大変だったんだね。平成30年度の作品コンクールで愛媛県の砂防ボランティア協会会長賞受賞。読ませてもらいました。大変な思いをして、そして本当にスコップを持つ手がしなるような、そんな、土砂っていうのがいかにものすごいものであるか、身をもって体験したと思います。つい先般も、ちょうど1年になるので、副市長と一緒に、災害現場へ行かせてもらいました。それから、とうとい命を失った方の仏壇も拝ませていただきましたけれども、だいぶ復興の方向に向かっている、力強く頑張ってくれているんだということを感じましたけれども、きょうはそのことを頭の中に置きながら、おそらくこの今回の質問の中身になったんじゃないかと思います。

中村議員、村上議員ご質問、「豪雨災害後の復興支援」、一番関心のある話題だと思います、のうち、2点目、「災害が起こった際の物資の援助や心のケアについて」に関しまして、私からお答えさせていただきます。本市では現在、非常食を含めた生活用品、資機材など災害用物資を、地域の拠点となる所に分散して配備しており、伯方地区におきましては、伯方支所に計画的に備蓄し、必要に応じてここから物資を避難所へ搬送しております。

昨年の7月豪雨では、道路の寸断等によって一時孤立状態となった地区が発生しましたが、緊急時に消防救急艇「しまかぜ」を活用して、海側から食料や水などの物資を搬送して対応いたしました。また、道路の寸断により孤立した地区では、婦人会の皆さんが避難者をはじめ地域の災害ボランティアの方々のために炊き出しを行っていただいたり、避難所にも、地域のパン屋さんから焼きたてパンを無償で提供していただいたりと多くの善意が寄せられました。

一方、災害時には、被災によるショックや避難所生活などの環境変化が大きなストレスとなります。強度の不安、うつなどの心身の反応が生じ、さまざまな影響が出ることも考えられ、ご質問にありました「心のケア」への対応が極めて重要となってまいります。7月豪雨の際には、避難所に保健師を派遣し、避難されていた方へのケアを行ったところです。

去年は、あの暑い中、災害ボランティアとして伯方中学校の生徒の皆さんも活躍をしていただきました。災害時は、多くの方の温かい支えが何より心強く、重要であります。普段から地域の皆さんが地元の行事やイベントに積極的に参加することで一体感が生まれ、支え合いの意識づくりにもつながるものと考えておりますので、中学生の皆さんも、積極的に地域の活動にかかわっていただきたいと思います。「まだ整備されていない被災場所の復興」につきましては、農水港湾部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

○野間千晴中学生議会議長  
山崎農水港湾部長。

○山崎昭二農水港湾部長

中村麻里愛議員、村上心海議員ご質問の「豪雨災害後の復興支援について」の1点目「まだ整備されていない被災場所の復興」に関しまして、私からお答えをさせていただきます。昨年、西日本各地に猛威を振るった7月豪雨は、県下全域をはじめ、本市にも甚大な被害をもたらしました。現在は、その復旧、復興に向けまして、県、市ともに全力を傾けているところでございます。

本市で特に被害の大きかった上浦町、伯方町、吉海町の被災地域では、土石流を防ぐ目的で、愛媛県において砂防ダムの建設が進められています。本市でも、市道や農道などの公共施設や被災した農地の復旧工事に、現在、全力で取り組んでいるところでございます。多数の公共施設が被災しており、全ての復旧にはかなりの時間を要していますが、応急措置を講じながら、できる限り早期に施設の機能回復に努めてまいりたいと考えております。

本市では、緊急時の防災情報を、テレビ、ラジオ、携帯電話のエリアメール、屋外拡声スピーカー、そして消防団の呼びかけなど、あらゆる手段を使って皆さんへお伝えします。皆さんもこれら情報を入手する努力をしてください。そして何よりも、早目の避難行動が、皆さんの、そしてご家族の大切な命を守ることになりますので、普段からご家族で話し合い、自分たちの避難行動を決めておいてください。よろしくお願いいたします。以上でございます。

○野間千晴中学生議会議長  
中村麻里愛議員、村上心海議員。

○村上心海議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○野間千晴中学生議会議長

以上で、中村麻里愛議員と、村上心海議員の一般質問を終わります。

次に、7番今治東中等教育学校青野拳士議員、8番尾崎恋奈議員。



○青野拳士議員

今治東中等教育学校3年青野拳士です。

○尾崎恋奈議員

3年尾崎恋奈です。私たちは、サイクリング関連の質問を二つさせていただきます。まず、交通事故対策についてです。現在、愛媛県をサイクリストの聖地にする取り組みが行われており、今治市においても「今治・西条ゆうゆう輪道」のルートが設定されました。県外や海外からの観光客に、愛媛ならではの絶景を気軽に自転車で楽しんでもらえるとてもよい取り組みだと思います。しかし、交通事故の増加が予想されます。そこで、今後のサイクリスト増加を見越した道路整備計画についてお聞かせください。

○青野拳士議員

次に、「サイクリングしまなみ」についてです。私自身も、2016年のイベントに参加し、ぜひとも今後も継続してほしいイベントだと感じました。2018年のイベントでは7,000人を超える参加者があったとのことですが、宿泊地をはじめ県外や外国のサイクリストを受け入れる態勢は整っているのでしょうか。また、私たち学生が協力できることがあれば教えてください。以上で質問を終わります。

○野間千晴中学生議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

東中等教育学校といえば、なぎなた、ハンドボール、皆さんのちょっとお兄ちゃん、お姉さんだと思うんですが。特色は何と云うか、とっても返事がすばらしいんです。総体にいつも、壮行会に来ます。そのときの、本当に声のとった、一人一人の思いのこもった返事を

聞きますと、私たちに、本当に元気をいただいております。2人とも、青野議員は野球部、それから尾崎さんは書道のほうやったんですか。こういったことで生徒会の活動も率先して取り組んでくれておること、大変頼もしく思っております。これからもしっかりと取り組んで、東中等教育学校の伝統を守っていただければありがたいと思います。

お2人、青野、尾崎両議員ご質問、観光、とりわけサイクリングロードの整備計画についてのうち、2点目、サイクリングしまなみ、我が今治名物です、についてに関しまして、私からお答えさせていただきます。昨年10月に開催されましたサイクリングしまなみ2018では、26の国と地域から、外国人約700名を含む、7,200名の方々にご参加いただき、サイクリストの聖地として、しまなみ海道のすばらしさを全世界に発信するとともに、このエリアの振興・活性化が図られました。また、次のサイクリングしまなみ2020も令和2年10月25日、もう日時も決定しております、開催が決まっております、さらに魅力あふれる大会になるよう、鋭意準備を進めているところでございます。

ご質問の参加者の受入態勢につきましては、国内屈指のサイクリング大会として、まずは参加者の皆さんに安心して走行していただくため、警察等の関係機関との連携のもと安全対策に万全の措置を講じております。また、宿泊地につきましては、可能な限り今治市内に泊まらせていただいておりますが、本市のホテル等の宿泊可能人数を大幅に上回る参加者数となるため、前回大会では、宿泊者の40%が今治市、30%が道後等の松山市、19%が尾道市、9%が福山市に宿泊しており、松山市や福山市内からシャトルバスを運行するなどして対応しております。このほか、海外から参加される皆さんへの対応としまして、レンタサイクルの貸出サービスや外国語ボランティアスタッフを配置するなど、より円滑な大会運営に努めているところです。さらに、瀬戸内しまなみ海道の魅力を十分に堪能していただくため、エイドステーション等では、地域の食材を使ったおいしい食べ物の提供や、地元ボランティアによる太鼓演奏等のおもてなしを実施しており、参加者の皆様から好評を得ております。

中学生の皆さんには、これまで、エイドステーションでのフードやドリンクの提供業務や沿道での応援などで、笑顔や元気を参加者におくっていただいておりますが、このほかにも、サイクリングコースのごみ拾いや清掃、ゴール会場でのステージイベントへの出演など、考えられることはたくさんあります。中学生の皆さんにご協力をいただけるのは大変ありがたいことですので、「こんなことができます」ということがあれば、イベント交流推進課までお知らせいただければ、大変ありがたいと思っております。

今後も皆さんのご協力をいただきながら、オール今治でサイクリングしまなみを盛り上げてまいりたいと考えております。そして、こうした流れをしっかりと捉えた中で、サイクリングで日本中をもっと元気にしようと、全国の自治体に呼びかけを行い、昨年11月に「自転車を活用したまちづくりを推進する市区町村長の会、首長の会」です、を立ち上げ、事務局を務めましたので、私が会長を務めさせていただいております。地方創生のとっても大事な役割。大きなお金をかけずに、そして地域が盛り上がる。北海道から九州、沖縄まで、各自自治体を中心となって、しっかりと地域の盛り上げ、活性化に頑張っていこうよ、という同志を募っております。そのとき、設立したときが、294自治体でありましたが、今、現在356の自治体が参加してくれております。まさに、しまなみから日本中に輪が広がっていると実

感しております。観光にも環境にも、経済効果にもつながる自転車を活用した新しい取り組みを、これからもしっかりと進めてまいります。「交通事故対策」につきましては、都市建設部長、唯一、今治市の中学校を卒業してない部長であります。今現在、今治市に住んで、F C 今治の今治市役所応援団長として大活躍の、都市建設部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。以上です。

○野間千晴中学生議会議長  
一色都市建設部長。

○一色剛司都市建設部長

都市建設部長の一色です。先ほど市長からご紹介いただいたように、私、お隣の旧東予市の出身、東予東中学校の出身でございます。ただ今は、日吉校区に住んでおりまして、私の2人の子供たちは、美須賀中学校の出身でございます。F C 今治も好きですが、サイクリングも好きです。お答えさせていただきます。

青野拳士議員、尾崎恋奈議員、ご質問の「観光（サイクリングロードの整備計画）について」のうち「今後のサイクリストの増加を見越した道路整備計画について」お答えさせていただきます。今後、ますます増加するサイクリストの方に自転車で今治市を堪能していただき、いい思い出とともに、もう一度今治市を訪れたいと感じていただくためには、安全で、安心して快適に自転車で走行できる道路環境が大切になります。しかしながら、議員ご発言のとおり、サイクリストの増加が交通事故の増加につながることは、懸念されているところでございます。

サイクリストへの配慮といたしましては、平成24年度に、まず最も利用者の増加している「しまなみ海道」において、J R 尾道駅から今治駅の間で迷うことなく目的地に到達できるように、サイクリングの推奨ルートにブルーラインを整備いたしました。その後、県内各地でサイクリングの推奨ルートを設定し、ブルーラインを整備していく中、自転車に左側通行を促すことで、安全性が向上しているとの評価も受けております。また、長期的な取り組みといたしましては、本市が新しく整備する幹線道路では、車道の左側に歩道とは分離された自転車走行スペースを確保するよう整備を進めております。また、自転車が走行する空間の確保として、自転車と歩行者が一緒に通行している部分を、「歩道」と「車道の左側にある路肩部分の拡幅」に分離する整備を行っております。いずれにいたしましても、このような自転車空間の整備は短期間に実現できるものではないので、シェア・ザ・ロードの考え方で自動車、自転車、歩行者がお互いに思いやりを持って限られた道路空間を安全に快適に利用していくことが大切であろうと思われまします。どうぞ、中学生の皆様におかれましても、マナー向上にご協力のほど、よろしくお願いいたします。以上でございます。

○野間千晴中学生議会議長  
青野拳士議員、尾崎恋奈議員。

○尾崎恋奈議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○野間千晴中学生議会議長

以上で、青野拳士議員と、尾崎恋奈議員の一般質問を終わります。

次に、15 番大三島中学校實成亜衣花議員、 16 番藤田くるみ議員。



○實成亜衣花議員

大三島中学校 3 年實成亜衣花です。

○藤田くるみ議員

3 年藤田くるみです。私たちからは、大三島の観光産業の活性化について質問させていただきます。大三島には、サイクリストによって観光客の数がふえ、島の景色等を楽しんでくれます。しかし、観光客が島内のお店でお金を使うことが少ないために、島の産業の活性化にあまりつながっているとは感じられません。また、サイクリストの自転車が道路からはみ出して危険がふえるなど、島民には利益が少ないという意見もよく耳にします。

○實成亜衣花議員

さらに、別の問題としては、最近私の住む地域の食料品店が店を閉めてしまい、食材を隣町まで買いに行かなければなりません。地元の人がつくった野菜等を食べる機会も減ってしまいました。そこで、観光産業を活性化させるために、大三島ならではの食材を売る店をサイクリストの通る道沿いやインスタ映えのするスポット等につくるのがよいと考えます。また、外国の観光客も多いので、その割合の多い国籍の言語で、地元の食材の紹介を書いた看板やパンフレットをつくるという方法も考えます。これらの方法について、考えをお聞かせ下さい。以上で、私たちの質問を終わります。

○野間千晴中学生議会議長

答弁を求めます。

## ○菅良二市長

きょうのトリを務めましたね、大三島中学校。實成議員は、お父さん、野球しとったんかな。なんか名前に記憶があると、そして、あなたは卓球。卓球は本当に、上浦中学校から合併して、大三島中学校になった時点、まさかまさかの日吉中学校という、いわば一番頂点にいる、そこに肉薄どころか、勝ったこともあるといったことを聞いて、わー、すごいなど。で、やっぱり朝練も大変だったと思うけれども、そこでずっと、団体でことし、準優勝。頑張りましたね。新しい、何か伝統が、大三島中学校に卓球という伝統ができたと思っていたら、何とバレーも準優勝です。これが藤田議員の所属した、2人とも、非常にスポーツに。それもそのはず、實成議員の父は高校野球の、そして藤田議員の、実はお父さんのことは私は非常によく覚えている。大三島中学校、当時まだ合併前だったから、今よりもっと小さかった。その小規模な大三島中学で、藤田投手、そして投げてはもちろんエースで、打っては非常に中心打者として、県で、県大会、なんとベスト4に入ったという。非常に、私の記憶の中にもある、そういうお父さんです。2人とも、そうしたスポーツ、非常にすぐれた資質がある、そして加えて、生徒会も活動していただいている。頼もしく思っております。

實成、藤田両議員、「大三島の観光産業活性化」これに目を当てていただきましたので、私からお答えをさせていただきます。しまなみ海道沿線には、魅力ある観光資源たくさんあります。こししの1月、皆さんご承知、ニューヨーク・タイムズで、「2019年に訪れるべき52の旅行先」の1つに、日本でただ1つ選ばれたのが、「せとうちの島々」なんです。これは「せとうちの島々」ですから、小豆島から周防大島、ずっと範囲は広い。その中でもやっぱり、しまなみ海道、真ん中ですから、自信を持って、この方向付けを私どもはしっかりとしたものにしていきたいと思っております。大島、亀老山。これはもう、平山郁夫先生の絵が、公会堂の緞帳を皆さん、見たかと思います。天かける白い橋。すばらしい。これが亀老山から書いた絵。そして、きょうは伯方も、開山の展望台から見ると、橋がずっと見えて、島々が見えて、すばらしい景観ですし、そういった絶景ポイントがいっぱいある、「せとうちの島々」。今まさに日本中、世界中から、しまなみの景観や暮らしに注目が集まっています。そして、大三島にも、もちろん大山祇神社をはじめ、観光資源が集積しています。大三島を「日本で一番美しい島」とうたうのが、伊東豊雄先生、伊東建築塾の数々の取り組み、そして、移住者の皆さんも非常に頑張ってくれています。愛媛県内で一番今治市に移住者が多い、その中でもなぜか大三島に移住される方が多い。それはやっぱり、人柄、大三島の人の心の優しさが影響があると私は思っております。さらには、しまなみ海道が「サイクリストの聖地」として広く、先ほども申し上げました、知られるようになって、国内外からたくさんのサイクリストが訪れるようになりました。しまなみ海道の中間点に位置する大三島では、サイクリストが走っている姿、よく見かけられると思います。地域の人口が減少する中で、多くのサイクリストや観光客の方に訪れていただき、交流人口をふやすことは地域経済にとっても重要であります。そのため、大三島を訪れる観光客の方々が何を求めて来られているのか、どういったものを食べたいのかといったことを調査し、大三島の魅力を効果的に伝える、いわゆるマーケティングとその結果に基づいた的確な宣伝を行うことが重要です。例えば、しまなみ海道でレンタサイクルを借りる外国人を国別にみると、1位はどこだと思

いますか。台湾なんです。2位が香港、以下、アメリカ、オーストラリア、フランス、欧米の各国も続いています。もし、お店の方が、地元の食材を紹介する看板やパンフレットをつくっていただけるのであれば、まずは台湾語、英語、フランス語で作成することがより効果的でしょう。

本市におきましても、多言語のホームページ、パンフレット、チラシ等で市の魅力を発信するとともに、地産地消の推進、インスタ映えを促す補助事業なども実施しているところですが、これら以外にも、中学生らしい感性で、大人が思いつかないような宣伝方法などを市にご提案いただきたいと思います。中学生の皆さんのアイディアで、地域が活性化すれば、これほど素晴らしいことはありません。自分の住んでいる地域の発展のために、お2人だけでなく皆さん全員、ぜひとも頑張ってください。それが私の願いであります。以上です。

○野間千晴中学生議会議長

實成亜衣花議員、藤田くるみ議員。

○藤田くるみ議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○野間千晴中学生議会議長

以上で、實成亜衣花議員と、藤田くるみ議員の一般質問を終わります。これで、全ての一般質問が終了しました。

ここで、菅市長さんから、きょうの今治市中学生議会の講評をいただきたいと思います。菅市長さん、お願いします。

○菅良二市長

閉会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。16名の議員の皆さん、各学校を代表して、きょうの中学生議会に臨んでいただきましたが、私、入ってきたとき、ちょっと緊張しているなと感じました。しかしだんだん、だんだん、場に慣れてきましたけれども、お疲れになったと思います。しかし皆さん、本当に全員が、堂々と自分の意見を発表し、我々の答弁や、ほかの、発言者以外の議員の方々、こういったことにも真剣に耳を傾けていただきました。さすがに、各学校を代表する生徒たちなんだと頼もしく感じております。

そして議長を務められた村上心海さん、それから野間千晴さん。お2人とも、立派に大役を果たされました、きょうはスポーツ施設の整備やサイクリングを活用した観光振興をはじめ、昨年の7月豪雨からの復旧、さらには、自然災害への対策など、多岐にわたる質問やご意見、ご提案をいただきました。それから、うれしいことに、高齢者に対する思いやり、一番最初の質問だったと思います。高齢者が暮らしやすいまちづくり。人口減少対策についての質問もありました。皆さんも2040年問題、聞いていると思います。日本の人口は減ります。残念ながら、これは、少子高齢化、ますます進んでいく。そういったことで、本当に大変なことではあります。日本中が減少してくる。とりわけ地方都市。大変なんだと。私どももそれ

は受け止めております。そういった本格的な人口減少にどう対応していくか。これは、さまざまな影響を与えるわけですが、とりわけ医療や介護の問題だけでなく、社会を支える働き手世代が減少します。そのために税収も減ります。空き家がふえます。こういったことで、行政サービスの維持にも影響が出ると



危惧しております。人口減少に立ち向かい、将来にわたって、市民の暮らしや地域の活力を維持していくにはどのようにしていくべきか。そして市民がこれからもずっと、ずっと今治市に住みたいと感じ、夢や希望を持てるまちを、次の世代につないでいくにはどうするか。こういったことを一生懸命、真剣に考えていかなければならないと思っています。きょうの中学生議会議会をひとつの契機に、まさにこれからの今治市を、日本を担っていく若い皆さんには、それぞれに、夢や目標、志、これを持って、大きく成長をしていただきたい。そしてさらに、次は皆さんたちの手で、ふるさと今治市が、さらにいいまちになるよう、ご貢献いただければありがたいと願っています。きょうは傍聴席にもたくさんの方々、お越しをいただき、あたたかい激励、それから、これからの皆さんの成長への大きな期待を寄せていただきました。もちろん我々も同じ思いであります。中学生議会議会の閉会にあたりまして、お力添えをいただきました関係者の方々、保護者の皆様に、心からお礼申し上げ、閉会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

皆さん、きょうは、本当にありがとうございました。

#### ○野間千晴中学生議会議長

菅市長さん、ありがとうございました。

以上で、本日の日程は全部終了しましたので、今治市中学生議会議会を閉会します。

